

実機テストの手順

主に10ステップ

1. Xcodeで新規プロジェクトを作成
2. Xcodeを立ち上げたまま、シミュレーターから実機へ切り替えRunボタンをクリック
3. Fix Issueをクリック
4. 「Xcode 上で」 Apple ID 作成
5. メールでアカウントをverify(確認)
6. Xcode 上で Apple ID を再び追加
7. iOS Development (Signing Identities) をCreate
8. Xcode上でRunボタンを押して Fix issueをクリック
9. 実機の「設定」で 開発元を信頼をクリック
10. 完成！！

新しくプロジェクトを作成し、
PCに実機をつないで、Xcode上でRunをクリック



このコンピューターを信頼しますか？と
アラート表示されるので、信頼をタップ

そうすると、Xcode上でエラーが発生するので、
「Fix issue」をクリック→Addをクリック



Apple IDの入力を求められるので、入力してSign Up
(作成されていない場合は、Create後作成後入力)

Xcode上で左上の「Xcode」 → 「Preferences」 の順
にクリック → 上部「Accounts」を選択



選択後、左下の「+」 ボタンをクリックし、
「Add Apple ID」 をクリック
→ Apple IDの入力を求められるので再度入力

その後、右下の「View Details」をクリック
→ 「iOS Development」 横の「Create」 をクリック
その後「Done」 をクリック



これで、開発証明書がキーチェーンに追加されます。

再び、PCと実機がつながった状態で、
Xcodeの左上「Run」をクリック→エラーが出るので、
「Fix issue」をクリック



「Personal Team」を選択し、「Choose」

すると、Xcode上で再度エラーが出ます。

→実機上には、エラー解消の手順が記載されています。



実機で「設定」→「一般」→「プロファイル」とタップ
していき、該当のファイル(作成したApple ID名)をタップ

すると、Xcode上で再度エラーが出ます。

→実機上には、エラー解消の手順が記載されています。



実機で「設定」→「一般」→「プロファイル」とタップ
していき、該当のファイル(作成したApple ID名)をタップ
→Apple ID名をタップ→「信頼」をタップ

**先ほどXcodeからRunしたアプリをホーム
よりタップするとアプリが起動します。**



これで、実機でアプリを確認できるようになりました！！